

CASBEE-建築(新築)2016年版
NEW CONSTRUCTION OF OSAKA KEIHANNADATA CENTRE

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.3
Q1 室内環境			0.40			3.2
1 音環境		3.6	0.15	-	-	3.6
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		4.2	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能	開口部遮音等級T-2 /	5.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音	床 天井に吸音材を使用している /	4.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-	
1 昼光率		3.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	-	-	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		4.1	0.25	-	-	4.1
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用 /	4.0	1.00	-	-	
4.2 換気		4.3	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が室面積の1/15以上 /	5.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮	給気と排気が0m以上離れて設置 /	5.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	全館禁煙 /	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能			0.30			3.5
1 機能性		3.6	0.40	-	-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	オフィスの天井高2.8m以上 /	4.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース	休憩室が執務スペースの1%以上 /	4.0	0.33	-	-	
3 内装計画	インテリアパースによる内装計画の事前検証を実施している /	4.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	効果的に水切りなどを外壁面へ設置している /	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	外部の鉄部はすべて溶融亜鉛めっき仕上げとする /	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.4	0.30	-	-	3.4
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.4	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能	免震装置の設置	5.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁金属パネル	4.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用 /	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		3.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備	非常用発電設備を備えている /	4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.7	0.30	-	3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-
1	階高のゆとり	階高4.9m	5.0	0.60	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.1≦【壁長さ比率】<0.3	4.0	0.40	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-
3.3 設備の更新性			3.6	0.40	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-
3	電気配線の更新性	ケーブルラック	5.0	0.10	-	-
4	通信配線の更新性	ケーブルラック	5.0	0.10	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-
6	バックアップスペースの確保	重要設備のメンテナンス時に機能が維持できる設計としている	4.0	0.20	-	-
Q3 環境負荷低減(3域内)			3.0	0.30	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		外壁色をアースカラーとし周辺環境に対し圧迫感を与えないよう配慮	4.0	0.40	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性						3.6
LR1 省エネルギー				0.40		3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.59	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用		太陽光パネルの設置	4.0	0.10	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.73	3.7	0.50	-	3.7
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-
4.2	運用管理体制		-	-	-	-
LR2 資源・リサイクル				0.30		3.6
1 水資源保護			3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水		節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60	-	3.7
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュラン ビニル床タイル 地域産木材	5.0	0.20	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能 LGS	5.0	0.20	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-
1	消火剤		-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつ、GWPが1の発泡剤を用いた断熱材等を使用している	5.0	0.50	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-
LR3 地球温暖化				0.30		3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=78%	3.8	0.33	-	3.8
2 地域環境への配慮			3.3	0.33	-	3.3
2.1 大気汚染防止		燃焼機器使用無し	5.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-
2	振動		-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストの項目の過半を満たし広告物照明無し	5.0	0.70	-	-
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-